

平成30年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

〈校訓〉 賢く 優しく 遅しく



佐世保市立広田中学校

校長 山口 政則

生徒数 474名

(特別支援学級：2学級含む)

所在地 佐世保市重尾町188



1 学校経営グランドデザイン

平成30年度 学校経営グランドデザイン

校訓【 賢く 優しく 遅しく 】

社会的背景、
保護者・地域の願
い



学校教育目標

「我が広田を誇りに思う生徒の育成」

憲法、教育法規
学習指導要領、
県・市教育方針



めざす学校像 【ひ】 広く知られる学校 【ろ】 ロマンあふれる学校 【た】 他者を大切にできる学校	めざす生徒像(校訓から) 【賢】 【ひ】 広く英知を求め学ぶ生徒 【優】 【ろ】 労を惜みず、他者に優しく接する生徒 【遅】 【た】 耐える心を持ち、常に前進する生徒	めざす教師像 【ひ】 日々研鑽に励む教師 【ろ】 論よりもまずは実践する教師 【た】 タイミングを逸することなく、適切な指導ができる教師
【豊かな心の育成】 ・一徳運動の推進 生徒・・・「お先にあいさつ」 教職員・・・「あいさつに一声添えて」	【確かな学力の定着】 ・教科チームとしての連携 ・3つの「わ」を意識した授業実践 ・互見授業の推進	【健やかな体の育成】 ・健康教育の推進 ・部活動への積極的参加 ・食育の推進



【本年度重点目標】

最強教師軍団“チーム広田”の確立

【具体的実践】

1 学力保障 ～生徒の期待に応える授業実践～

- (1) 無理のない研究授業の推進
- (2) 教科チームとしての連携
- (3) 授業交換 固定学級に限らず学級を交換して授業を行う
- (4) 3つの「わ」を意識した授業の実践
「わ・・・分かる授業 わ・・・わくわくする授業 わ・・・笑いのある授業」

2 生徒指導 ～心豊かな生徒の育成～

- (1) ごく自然な「ありがとう」の声かけ
- (2) 一徳運動「あいさつに一声添えて」の実践
- (3) 学級活動を核に据えた好ましい集団づくり ～個性あふれる学級経営～
- (4) 一人一人を大切に ～忘れられた生徒は存在しない～

3 部活動指導 ～みんなで喜び讃え合おう～

- (1) 技術が未熟な生徒にも出場機会を与え、部員みんなで活躍を喜び合える部活動づくり
- (2) 特定部活動の活躍でも、教職員みんなの関心事として話題にできる教職員集団
- (3) 応援に出かけてみよう ～生徒の意識は変わります～

2 実践内容

(1)「広田中といえば…」学校づくり

① 学校カレンダー作成、配布

学校年間行事をカレンダーにして、各家庭や地域に配布した。
保護者や地域からも学校の予定が事前にわかると好評であった。

学校カレンダー



② のぼり旗の作成

校内入口や玄関前、体育館前に学校のシンボルとしてのぼり旗を設置した。本校の雰囲気明るくし、各種行事や部活動の大会等へも持参し、学校の特色として定着した。

のぼり旗



③ 「校訓マスコットキャラクター」による徳育推進活動 たくまし君 かしこくん やさしちゃん



広ちゃんズ



小6 歓迎式

校訓「賢く・優しく・逞しく」を身近に感じさせるために着ぐるみを活用し、各種行事やイベントへ参加し、本校教育活動のアピールと徳育推進活動を実践した。

〈実践例〉

10月23日(火)にゆるキャラ特集で本校の校訓キャラクター「広ちゃんズ」がテレビ SASEBO から取材を受けた。インタビューでは、3年生生徒会が「かしこくん」、「やさしちゃん」、「たくまし君」の誕生秘話、それぞれの性格や活動内容を紹介した。後日テレビ放送があった。

テレビ SASEBO「ゆるキャラ特集」取材



④ オリジナル生徒会横断幕、ジャケット、キャラクターメンテナンス

生徒会横断幕と生徒会ジャケットを製作し、生徒会活動の活性化を図った。また、マスコットキャラクターの着ぐるみのメンテナンスとして校訓キャラクター活動後のメンテナンス（クリーニング・縫製）を行った。

生徒会旗



生徒会ジャケット



⑤ 厦門市外国語学校との友好学校提携看板製作

今年度、佐世保市国際政策課による依頼により、8月に厦門市外国語学校と本校が5年間の友好提携の調印を行った。それに伴い看板を製作し、地域、保護者への周知をした。



(2) 講師招聘による講演会及び講話

① いのちを見つめる強調月間（本校体育館）

6月21日（木）5、6校時

5校時 一斉道徳授業 保護者（120名参加）

6校時 メディア講習会 保護者（90名参加）

【内容】

道徳授業では、命の尊さ等について考えた。メディア講演会では、携帯電話のメールやSNSの利用の仕方を学んだ。

メディア講習会



② 1年歯科講話（本校体育館）

11月1日（木）14:15～15:15

講師：山本 裕一氏（学校歯科医）

歯科講話



③ 2年性教育セミナー（本校体育館）

11月19日（月）14:15～15:15

講師：朝永ゆかり氏（長崎県看護協会助産師職能委員）

演題：「大切にしよう 思春期の心と体」

④ 3年デートDV防止教室（本校体育館）

7月13日（金）14:15～15:15

講師：市田 恒明副校長

2年生性教育セミナー



【内容】

○歯科講話…歯の病気の種類や病気の進行のようす、ブラッシングの方法等の講話

○性教育セミナー…二次性徴、命のはじまり、妊娠のしくみ、お産の方法、思春期の性、性感染症などの性の問題を抱える若者の現状について体験型での講話

○デートDV防止教室…非暴力、対等な男女関係のあり方についての講話

⑤ 薬物乱用防止教室（本校体育館）

10月3日（水）13:55～14:55 3年生対象

講師：東島 照幸氏（学校薬剤師士）

【内容】

危険ドラッグ等を含めた薬物の有害性や危険性、乱用の実態を理解するとともに、その防止対策を知ることにより、薬物乱用に対する危機意識を高め、決して使用しない、絶対に許さないという強い意志を育てた。

薬物乱用防止教室



（3）地域との連携

広田中学校区青少年健全育成会や広田地区生涯学習推進会が主催する行事に参加して、地域の教育力を生かす取組を実施している。

- 地区交流球技大会（8月26日）：生徒約100名参加
- 空き缶回収キャンペーン（9月9日）：猛暑のため中止
- ふるさと史跡めぐり（10月21日）：生徒約100名参加
- 広田ふるさと祭り（11月3日）：吹奏楽部（50名）出演
書道と絵画の作品を展示
- 鬼火だき（1月7日）：生徒約200名参加

（4）総合的な学習の時間

〔1年生〕ふるさと歴史発見学習 11月 6日（月）

8:40～12:20

【内容】

宮地区、三川内地区、早岐地区、江上・針尾地区のコースに分かれて、郷土の歴史や文化に対する理解や郷土に対する誇りと愛情を育てるとともに、ふるさと佐世保の発展を願う態度を培った。

鬼火炊き



ふるさと史跡めぐり



ふるさと歴史発見学習（早岐神社）



〔2年生〕職場体験学習（47事業所）

10月23日（水）～10月26日（金）

【内容】

事前に生徒が事業所に電話連絡を行い、事前打合せの日時を決めたり訪問して打ち合わせをしたりすることで、事前連絡の仕方などを学習する。3日間の職場体験学習を行うことで、働くことの意義、働くことの素晴らしさや大変さ、様々な方々とのふれあいなど、多くのことを学んだ。また、表現力を培うために発表会を行い、プレゼン等によるまとめや自己表現力を高めた。

職場体験学習



（5）校内研修の充実

研究テーマを『最強教師軍団「チーム広田」の確立～小中のつながりをいかした教育活動～』と設定し小中一貫型教育の特性を生かし、中学校教諭の6年生への乗り入れや分かる授業・わくわくする授業・笑いのある授業を実践し、互見授業の推進や初任研、経年研修授業、佐世保市教育委員会による学力向上授業研修を中心とした研究授業を実施して教師の授業力向上を図ることができた。また、昨年度からの小中一貫型教育や経過について共通理解を行った。

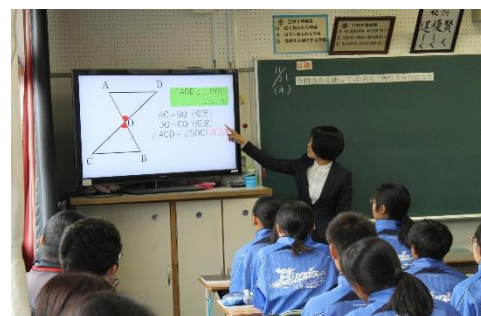
学力向上提案授業（数学科）

① 校内研修テーマの確認、実践に向けての計画（5月）

② 小中一貫型教育経過の共通理解（8月、2月）

小中全職員が8部会に分かれて小中一貫型教育の経過や実践について共通理解し、成果と課題の確認を行った。

③ 佐世保市教育委員会指定学力向上提案授業（11月）



6年生英語乗り入れ授業



6年生音楽乗り入れ授業



3 成果と課題

昨年度より小学校6年生が本校敷地に移転し、広田小中学校の小中一貫型教育が実施されて2年目を迎えた。昨年度の反省や改善を行い、様々な部分で小中一貫型教育ならではの教育活動を実践することができ、一定の成果を収めることができた。

次年度は、廈門市外国語学校との交流も含め小中一貫型教育の充実期として、より一層小学校と連携を深め小中一貫型教育を通じて、魅力ある学校づくりを行っていきたい。